

## 平成 24 年度心理職対象 HIV カウンセリング研修会（初心者向け） 開催要領

【主催】広島大学病院エイズ医療対策室（厚生労働省エイズ対策研究事業）

【参加資格】中国四国ブロック内のエイズ治療拠点病院勤務の心理職、派遣カウンセラー、HIV カウンセリングに関心のある臨床心理士・大学院生など（HIV カウンセリング経験者も参加できます）

【日時】 平成 24 年 8 月 25 日（土）

【会場】サンポートホール高松 63 会議室（6 階）

〒760-0019 香川県高松市サンポート 2 番 1 号 TEL(087) 825-5000  
(別紙 1 をご参照ください)

【日程】平成 24 年 8 月 25 日（土）

10:00～	受付
10:30～10:40	挨拶 事務連絡等
10:40～11:40	「HIV の基礎知識」 広島大学病院エイズ医療対策室 藤井輝久
11:40～12:30	休憩
12:30～14:00	「セクシュアリティについて」 宝塚大学看護学部 日高庸晴 先生
14:00～14:10	休憩
14:10～15:10	「HIV カウンセリングについて～告知直後の関わりを中心に」 広島大学病院エイズ医療対策室 喜花伸子
15:10～15:20	休憩
15:20～17:00	「事例検討」高松赤十字病院 島津昌代 先生 コメンテーター 広島大学 内野悌司 先生

【参加費】無料 【定員】40 名 【研修ポイント】臨床心理士資格ポイント申請予定

【旅費】旅費は参加者個人、あるいは派遣側の負担といたします。

【申込み方法】申込書に必要事項を記入の上、平成 24 年 7 月 22 日（日）までに FAX またはメールでお申し込みください。お申込みいただいた方には、こちらから FAX またはメールで参加確認のご連絡をいたします。7 月末までに参加確認の連絡がない場合はお問い合わせください。

【問い合わせ・申し込み先】広島大学病院エイズ医療対策室 担当：喜花伸子 濱本京子  
TEL&FAX:082-257-5351 E-mail : [kihana@hiroshima-u.ac.jp](mailto:kihana@hiroshima-u.ac.jp)

## 別紙1

### 会場:サンポートホール高松 63会議室(6階)

〒760-0019 香川県高松市サンポート2番1号 TEL(087)825-5000

### アクセス

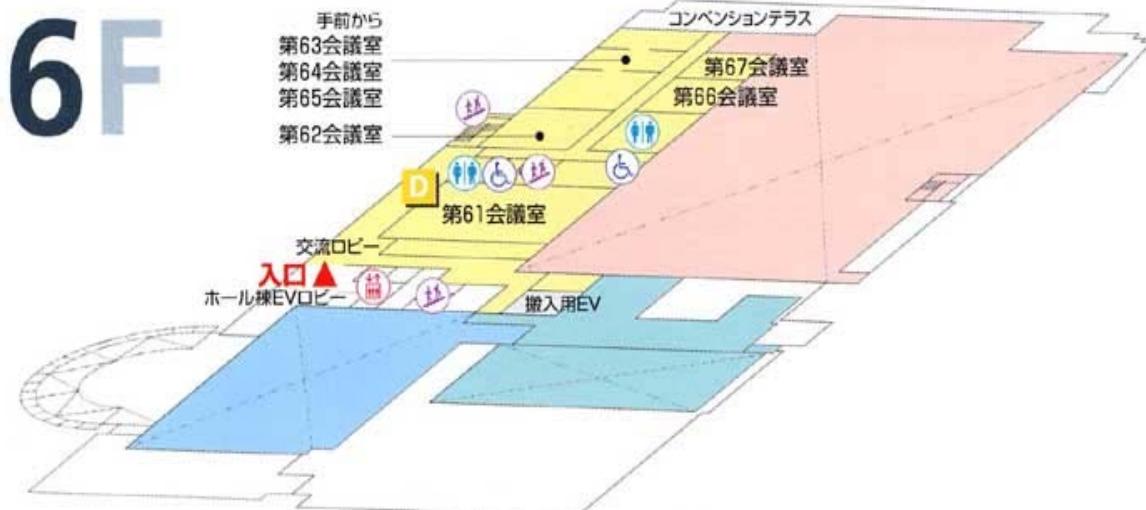
JR 高松駅から徒歩 3 分

ことでん高松築港駅から徒歩 5 分

高松港から徒歩 2 分

高松自動車道 高松中央 IC より国道193号へ 車で約 20 分

高松空港からことでん高松空港リムジンバス 高松駅行き乗車 40 分



送信票不要

## 平成 24 年度心理職対象 HIV カウンセリング研修会

### 参加申込書

宛先 広島大学病院エイズ医療対策室  
担当：喜花

mail: [kihana@hiroshima-u.ac.jp](mailto:kihana@hiroshima-u.ac.jp)

FAX 082-257-5351

申し込み締め切り 7月22日（日）

氏名（ふりがな）

所属

連絡先（電話）

(FAX)

(E-mail)

臨床心理士資格 あり（臨床心理士番号： ）・なし

HIV カウンセリング経験 あり・なし

HIV 派遣カウンセラー登録 している・していない

# 平成24年度心理職対象 HIVカウンセリング研修会(初心者向け)

日時:平成24年8月25日(土) 10:30~17:00

会場:サンポートホール高松 63会議室(6階)

主催:広島大学病院エイズ医療対策室(厚生労働省エイズ対策研究事業)

研修ポイント:臨床心理士資格ポイント申請予定

講演①「HIVの基礎知識」

広島大学病院エイズ医療対策室 藤井輝久

講演②「セクシュアリティについて」

宝塚大学看護学部 日高庸晴 先生

講演③「HIVカウンセリングについて~告知直後の関わりを中心に」

広島大学病院エイズ医療対策室 喜花伸子

事例検討

事例提供:高松赤十字病院 島津昌代 先生

コメントーター:広島大学 内野悌司 先生

HIVカウンセリングを行う上で必要な基礎的内容が学べます。

他職種チームでの連携・協働に関心をお持ちの方にも参考になるはずです。

セクシュアル・マイノリティへの心理的支援に关心のある方、性の悩みをもつ思春期・青年期に関わるスクールカウンセラー等にも、大変役立つ内容です。

講師紹介:日高庸晴(ひだか・やすはる)先生

宝塚大学看護学部准教授。専門は社会疫学、行動科学、HIV/AIDS対策、ジェンダー・セクシュアリティ領域。行動疫学調査に社会心理学の手法を援用した社会調査を通じて、マイノリティであるゲイ・バイセクシュアル男性の抱え持つ健康問題を明らかにする調査研究を数多く実施し、エビデンス(データ)に基づく施策提言を行っている。国や地方自治体のエイズ対策研修、自殺予防対策の講師など数多く務める。